平成 25 年　3月 14 日
【照会先】
大臣官房統計情報部
人口動態･保健社会統計課世帯統計室
縦断調査管理官　　越路　幹男
室長補佐　　相原　陽二(内線　7593)
（担　　当）中高年者縦断統計係(内線　7594)
（代表電話）　　03-5253-1111
（直通電話）　　03-3595-2323

第７回中高年者縦断調査（中高年者の生活に関する継続調査）の概況

目　　次

頁
調査の概要 …… 1

結果の概要 …… 3
1　世帯の状況 …… 3
2　健康の状況 …… 4
3　就業の状況 …… 6
（1）現在の就業の状況 …… 6
（2）離職後に仕事をしていない者の状況 …… 8

参　　考 …… １３

用語の定義 …… １６

第７回中高年者縦断調査の結果は、厚生労働省ホームページにも掲載されています。
アドレス（ http://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/toukei/ ）

調　査　の　概　要

１　調査の目的

この調査は、団塊の世代を含む全国の中高年者世代の男女を追跡して、その健康・就業・社会活動について、意識面・事実面の変化の過程を継続的に調査し、行動の変化や事象間の関連性等を把握し、高齢者対策等厚生労働行政施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的として、平成 17 年度を初年として実施しているものである。

２　調査の対象及び客体

平成 17 年 10 月末現在で 50～59 歳であった全国の男女を対象とし、そのうち、第５回調査又は第６回調査において協力を得られた者を客体とした。

第７回調査における対象者の年齢は、56～65 歳である。

３　調査の期日

調査の周期　毎年１回（11 月の第一水曜日）

調査の期日　第７回調査　平成 23 年 11 月２日（水）

４　調査の事項

家族の状況、健康の状況、就業の状況、住居・家計の状況　等

５　調査の方法

厚生労働省から郵送された調査票に被調査者が自ら記入し、郵送により厚生労働省に提出する方法により行った。

６　調査の系統

厚生労働省　―――　被調査者

郵送

7　結果の集計及び集計客体

（1）結果の集計

集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

（2）調査客体数等

調査客体数、回収客体数は以下のとおりである。

	対象者の年齢	調査客体数	回収客体数	回収率
第１回調査	50～59歳	40,877	34,240	83.8%
第２回調査	51～60歳	35,007	32,285	92.2%
第３回調査	52～61歳	32,195	30,730	95.4%
第４回調査	53～62歳	30,773	29,605	96.2%
第５回調査	54～63歳	29,548	28,736	97.3%
第６回調査	55～64歳	28,554	26,220	91.8%
第７回調査	56～65歳	28,137	25,321	90.0%

（3）集計客体数

本概況では、第１回調査から第７回調査まで集計可能である 23,672 人を集計客体とした。

8　利用上の注意

（1）表章記号の規約

計数のない場合	－

（2）この概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

結　果　の　概　要

1　世帯の状況

この6年間で、「夫婦のみの世帯」は増加、「三世代世帯」、「親なし子ありの世帯」は減少

第1回調査から第7回調査までの世帯構成をみると、「夫婦のみの世帯」は、第1回 21.0%から第7回 32.0%と増加しており、「三世代世帯」は、第1回 22.7%から第7回 17.1%、「親なし子ありの世帯」は、第1回 39.0%から第7回 31.0%と減少している（図1）。

第1回から第7回での世帯構成の変化をみると、「夫婦のみの世帯」に変化した割合は、「親なし子ありの世帯」で 27.3%、「親あり子なしの世帯」で 19.8%と高く、また、「三世代世帯」から「親なし子ありの世帯」に変化した割合は 18.6%、「親あり子なしの世帯」に変化した割合は 14.2%となっており、世帯構成の小規模方向への変化がみられる（表1）。

図1　第1回調査から第7回調査までの世帯構成の変化

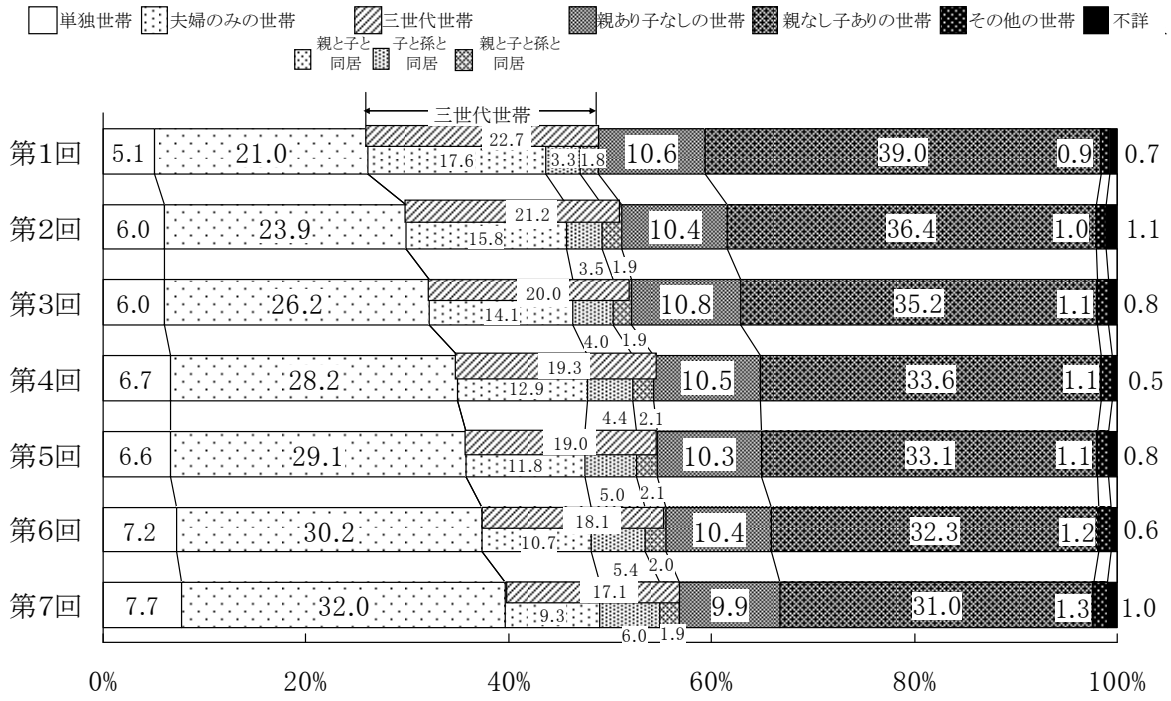


表1　世帯構成の変化

（単位：%）

		第7回の世帯構成							
		総数		単独世帯	夫婦のみの世帯	三世代世帯	親あり子なしの世帯	親なし子ありの世帯	その他の世帯
第1回の世帯構成	総数	(100.0)	100.0	7.7	32.0	17.1	9.9	31.0	1.3
	単独世帯	(5.1)	100.0	74.3	6.9	3.0	3.9	8.3	2.0
	夫婦のみの世帯	(21.0)	100.0	3.9	76.6	5.3	2.6	9.6	0.5
	三世代世帯	(22.7)	100.0	1.7	10.9	53.6	14.2	18.6	0.6
	親あり子なしの世帯	(10.6)	100.0	9.5	19.8	12.0	51.5	3.9	2.5
	親なし子ありの世帯	(39.0)	100.0	3.6	27.3	6.1	1.0	60.9	0.3
	その他の世帯	(0.9)	100.0	13.5	13.5	4.8	1.4	6.3	57.2

注：総数には第1回及び第7回の世帯構成の不詳を含む。

2 健康の状況

この6年間、健康状態がずっと「よい」者が6年間継続して健康維持のために「適度な運動をする」ことを心がけている割合は 19.0%

この6年間、健康状態がずっと「よい」者と「よい」から「わるい」に変化した者では、「適度な運動をする」ことを心がけている割合に 8.3 ポイントの差

第1回調査からの健康状態の変化が「第1回からずっと「よい」」割合は 55.6%となっており、これを第1回から継続して健康維持のために心がけていること別にみると、「適度な運動をする」が 19.0%、「食事の量に注意する」が 17.8%、「バランスを考え多様な食品を取る」が 17.2%と割合が高くなっている(表2)。

第1回からの健康状態が「第1回からずっと「よい」」と「「よい」から「わるい」に変化」について、第1回から継続して健康維持のために心がけていることの割合を比較すると、総数では「適度な運動をする」が 8.3 ポイント、「適正体重を維持する」が 6.6 ポイント、「ストレスをためない」が 5.5 ポイントの差で、「第1回からずっと「よい」」の方が高くなっている。また、性別でみると、「バランスを考え多様な食品を取る」では「第1回からずっと「よい」」が 15.8 ポイント、「「よい」から「わるい」に変化」が 13.1 ポイントの差となり、女の方が高くなっている。(図2)

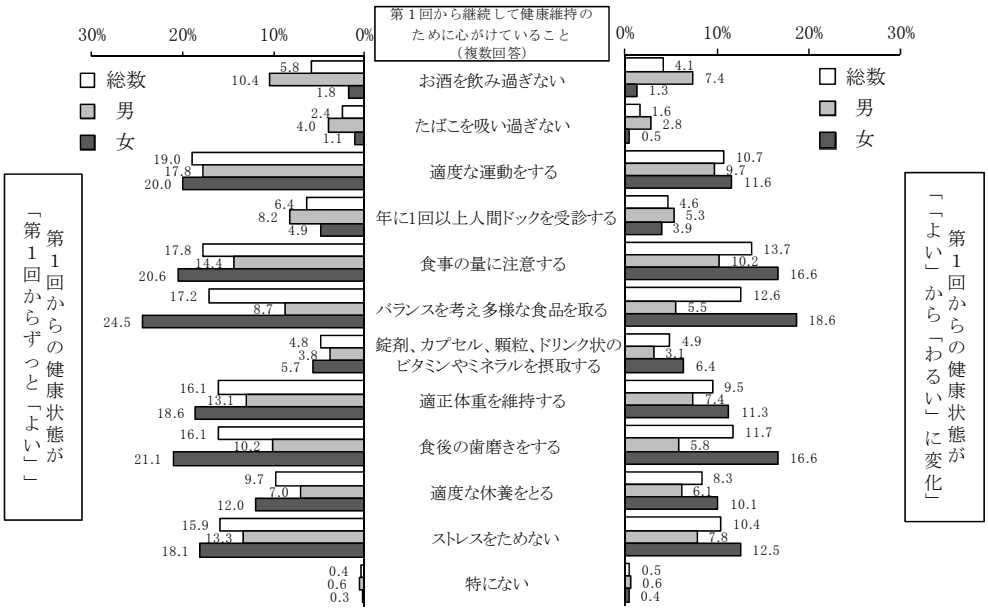
表2 第1回調査から継続して健康維持のために心がけていること(複数回答)別にみた第1回からの健康状態の変化

(単位:%)

		第1回からの健康状態の変化					
		総数	第1回からずっと「よい」	「わるい」から「よい」に変化	第1回からずっと「わるい」	「よい」から「わるい」に変化	その他の変化
第1回から健康維持のために心がけていること(複数回答)	総数	(100.0)	(55.6)	(4.2)	(3.7)	(5.9)	(25.6)
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	お酒を飲み過ぎない	5.0	5.8	3.5	4.2	4.1	4.1
	たばこを吸い過ぎない	2.3	2.4	1.7	2.5	1.6	2.1
	適度な運動をする	15.5	19.0	13.7	7.2	10.7	11.5
	年に1回以上人間ドックを受診する	5.2	6.4	4.0	1.8	4.6	3.9
	食事の量に注意する	16.4	17.8	17.7	16.6	13.7	14.5
	バランスを考え多様な食品を取る	14.7	17.2	12.6	9.4	12.6	11.5
	錠剤、カプセル、顆粒、ドリンク状のビタミンやミネラルを摂取する	4.8	4.8	4.0	5.3	4.9	4.8
	適正体重を維持する	13.4	16.1	12.8	8.1	9.5	10.1
	食後の歯磨きをする	14.1	16.1	13.1	9.2	11.7	12.1
	適度な休養をとる	8.7	9.7	8.5	5.7	8.3	7.3
	ストレスをためない	13.3	15.9	12.1	8.2	10.4	10.1
	特にない	0.5	0.4	0.5	0.9	0.5	0.6

注:総数には第1回からの健康状態の変化の不詳を含む。

図2 第1回調査からの健康状態の変化が「第1回からずっと「よい」」、「「よい」から「わるい」に変化」の第1回から継続して健康維持のために心がけていること(複数回答)の割合

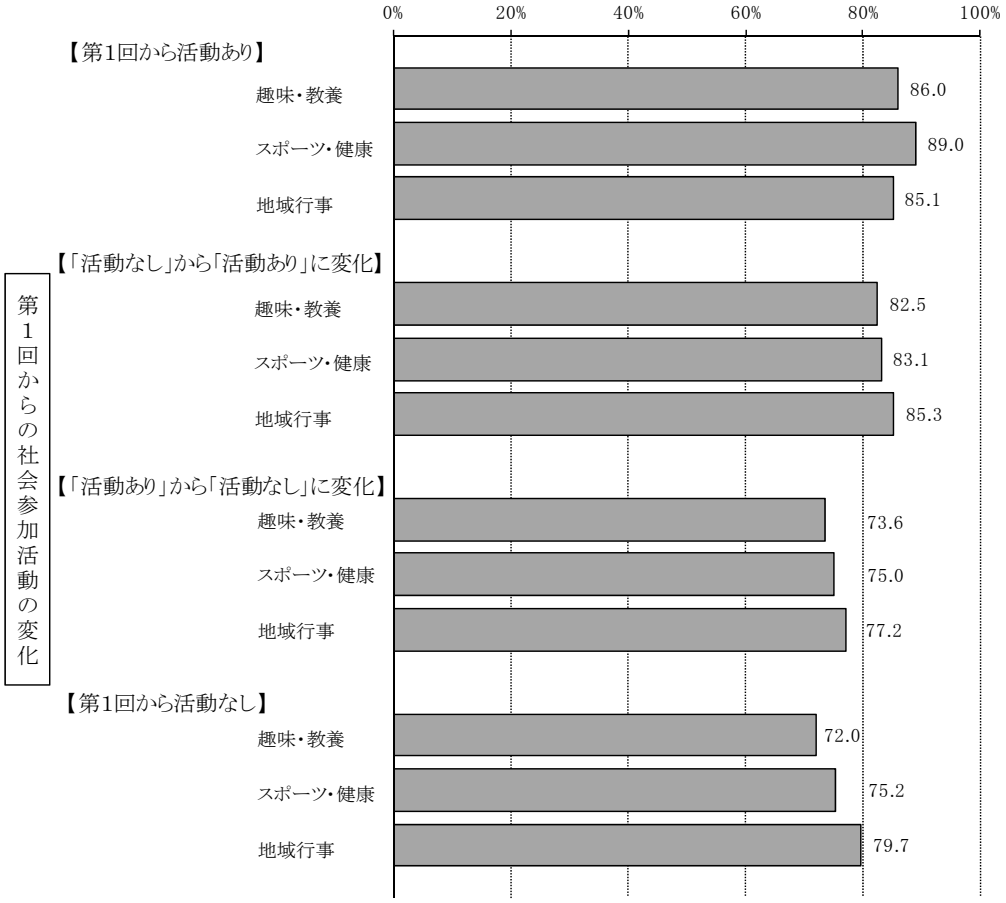


注:性別ごとの第1回からの健康状態の変化が「第1回からずっと「よい」」「「よい」から「わるい」に変化」ごとの総数を100とした割合である。

「趣味・教養」「スポーツ・健康」「地域行事」の活動を、この6年間継続している、活動を始めている場合に、第7回調査での健康状態が「よい」割合が8割以上

「趣味・教養」「スポーツ・健康」「地域行事」の社会参加活動について、第1回調査からの活動の変化別に第7回調査の健康状態が「よい」割合をみると、「第1回から活動あり」では、「趣味・教養」86.0%、「スポーツ・健康」89.0%、「地域行事」85.1%、「「活動なし」から「活動あり」に変化」では、「趣味・教養」82.5%、「スポーツ・健康」83.1%、「地域行事」85.3%と高くなっている。（図3）

図3　第1回調査からの社会参加活動の変化別にみた第7回調査の健康状態が「よい」割合



注：第1回からの社会参加活動の変化ごとの総数を100とした割合である。

３　就業の状況

（1）現在の就業の状況

「第１回から仕事あり」の割合は、第１回調査時のこれまでの働き方が「自営業でおおむね 20 年以上仕事をしている（いた）」で最も高い

第1回からの就業状況の変化について、第1回調査時のこれまでの働き方別にみると、「第1回から仕事あり」の割合は、第1回調査時のこれまでの働き方が「自営業でおおむね 20 年以上仕事をしている（いた）」で、男 87.7%、女 72.8%と最も高くなっている。性別にみると、第1回調査時のこれまでの働き方のいずれの項目でも、男の方が「第1回から仕事あり」の割合が高くなっている。（表3）

表3　性、第1回調査時のこれまでの働き方別にみた第1回からの就業状況の変化

（単位：%）

		第1回からの就業状況の変化					
		総数	第1回から仕事あり	就業	退職	第1回から仕事なし	その他
第1回のこれまでの働き方	男	(100.0) 100.0	70.6	1.4	14.4	2.9	10.7
	1 ひとつの企業・団体等の組織におおむね20年以上勤務している（いた）	(48.0) 100.0	66.7	1.8	18.1	2.4	11.0
	2 勤め先は変わったが、同じ分野の仕事におおむね20年以上従事している	(21.9) 100.0	71.9	0.9	13.6	2.6	10.7
	3 1や2に該当しないが、おおむね20年以上仕事（自営業を除く）に従事している（いた）	(9.0) 100.0	69.1	1.0	13.4	3.5	13.0
	4 自営業でおおむね20年以上、仕事をしている（いた）	(15.1) 100.0	87.7	0.5	4.4	1.2	6.1
	5 仕事を中断し、それ以来仕事をしていない	(0.4) 100.0	－	－	－	75.5	24.5
	6 1～5以外の働き方をしている（いた）	(3.3) 100.0	63.9	2.5	12.9	4.7	15.7
	7 収入を伴う仕事をしたことがない	(0.1) 100.0	－	－	－	80.0	20.0
	女	(100.0) 100.0	43.6	3.2	17.0	21.8	14.0
	1 ひとつの企業・団体等の組織におおむね20年以上勤務している（いた）	(16.9) 100.0	46.1	2.0	25.7	13.4	12.4
	2 勤め先は変わったが、同じ分野の仕事におおむね20年以上従事している	(12.5) 100.0	52.3	2.3	20.1	10.8	14.3
	3 1や2に該当しないが、おおむね20年以上仕事（自営業を除く）に従事している（いた）	(13.7) 100.0	50.5	2.3	20.2	12.7	14.1
	4 自営業でおおむね20年以上、仕事をしている（いた）	(11.8) 100.0	72.8	1.3	10.0	5.0	10.8
	5 仕事を中断し、それ以来仕事をしていない	(10.0) 100.0	－	10.3	－	75.5	13.9
	6 1～5以外の働き方をしている（いた）	(26.5) 100.0	42.4	3.1	18.5	20.8	14.9
	7 収入を伴う仕事をしたことがない	(2.1) 100.0	－	3.5	－	75.3	19.3

注：総数には第1回からの就業状況の変化及び第1回のこれまでの働き方の不詳を含む。

第7回調査で仕事をしている者の仕事への満足感は男では 50 代と 60 代で差が大きい

第7回調査で仕事をしている者の仕事への満足感を、性・年齢階級別にみると、年齢階級での差が「満足・やや満足」及び「やや不満・不満」ともに男が女に比べて大きい傾向にある。

「正規の職員・従業員」と「パート・アルバイト」を比較すると、男女ともに「正規の職員・従業員」が、「能力の活用・発揮」及び「仕事の内容・やりがい」では「満足・やや満足」の割合が高く、「就業時間・休日」では「やや不満・不満」の割合が高くなっている。

また、「正規の職員・従業員」と「パート・アルバイト」を性・年齢階級別に比較すると、男の「パート・アルバイト」で「やや不満・不満」の割合の年齢階級での差が大きく、特に「賃金・収入」では「56～59 歳」で 55.6%、「60～65 歳」で 39.9%と差が大きくなっている。（表4）

表4　第7回調査に仕事をしている者の性、年齢階級別にみた第7回の仕事への満足感

（単位：%）

	第7回の仕事への満足感													
	総数					男					女			
	総数		満足・やや満足	普通	やや不満・不満	総数		満足・やや満足	普通	やや不満・不満	総数		満足・やや満足	普通	やや不満・不満
能力の活用・発揮															
総数	(100.0)	100.0	30.0	53.6	9.7	(100.0)	100.0	31.4	51.9	11.0	(100.0)	100.0	28.1	55.8	7.9
56～59歳	(40.3)	100.0	28.7	55.5	11.8	(39.0)	100.0	30.0	53.0	13.6	(42.1)	100.0	27.2	58.6	9.7
60～65歳	(59.7)	100.0	30.8	52.3	8.2	(61.0)	100.0	32.3	51.3	9.4	(57.9)	100.0	28.8	53.8	6.7
（再掲）第7回の仕事のかたち 正規の職員・従業員	(100.0)	100.0	30.3	55.4	12.4	(100.0)	100.0	28.9	55.4	13.9	(100.0)	100.0	33.8	55.5	8.4
56～59歳	(66.0)	100.0	28.8	55.8	14.1	(66.2)	100.0	28.0	55.0	15.8	(65.4)	100.0	30.7	58.0	9.7
60～65歳	(34.0)	100.0	33.2	54.6	9.0	(33.8)	100.0	30.8	56.1	10.3	(34.6)	100.0	39.6	50.9	5.9
パート・アルバイト	(100.0)	100.0	25.3	59.9	10.7	(100.0)	100.0	23.7	57.8	13.5	(100.0)	100.0	25.7	60.5	9.9
56～59歳	(35.7)	100.0	23.4	61.8	11.7	(15.2)	100.0	17.0	60.0	20.0	(41.6)	100.0	24.0	62.0	10.8
60～65歳	(64.3)	100.0	26.3	58.8	10.1	(84.8)	100.0	24.9	57.4	12.3	(58.4)	100.0	26.9	59.4	9.2
職場の人間関係															
総数	(100.0)	100.0	30.3	51.8	12.4	(100.0)	100.0	29.6	53.5	12.2	(100.0)	100.0	31.1	49.5	12.7
56～59歳	(40.3)	100.0	29.0	52.4	15.5	(39.0)	100.0	27.7	53.8	15.6	(42.1)	100.0	30.5	50.6	15.4
60～65歳	(59.7)	100.0	31.1	51.4	10.3	(61.0)	100.0	30.8	53.3	10.0	(57.9)	100.0	31.6	48.7	10.7
（再掲）第7回の仕事のかたち 正規の職員・従業員	(100.0)	100.0	29.1	52.9	16.8	(100.0)	100.0	27.3	54.6	16.8	(100.0)	100.0	33.9	48.2	16.7
56～59歳	(66.0)	100.0	27.9	52.6	18.5	(66.2)	100.0	26.2	54.0	18.9	(65.4)	100.0	32.6	49.0	17.6
60～65歳	(34.0)	100.0	31.3	53.3	13.4	(33.8)	100.0	29.3	55.9	12.8	(34.6)	100.0	36.4	46.7	14.9
パート・アルバイト	(100.0)	100.0	29.6	53.5	14.6	(100.0)	100.0	27.2	57.8	12.1	(100.0)	100.0	30.3	52.3	15.3
56～59歳	(35.7)	100.0	27.6	53.1	17.5	(15.2)	100.0	19.3	59.3	19.3	(41.6)	100.0	28.5	52.4	17.3
60～65歳	(64.3)	100.0	30.7	53.8	12.9	(84.8)	100.0	28.6	57.5	10.9	(58.4)	100.0	31.5	52.2	13.8
賃金・収入															
総数	(100.0)	100.0	17.8	39.7	38.8	(100.0)	100.0	16.9	37.4	42.6	(100.0)	100.0	18.8	42.8	33.9
56～59歳	(40.3)	100.0	18.2	38.7	41.0	(39.0)	100.0	17.7	35.8	44.7	(42.1)	100.0	18.8	42.0	36.6
60～65歳	(59.7)	100.0	17.5	40.5	37.3	(61.0)	100.0	16.4	38.4	41.3	(57.9)	100.0	18.8	43.3	31.9
（再掲）第7回の仕事のかたち 正規の職員・従業員	(100.0)	100.0	18.5	38.9	41.5	(100.0)	100.0	16.5	38.5	43.9	(100.0)	100.0	23.8	39.9	35.1
56～59歳	(66.0)	100.0	19.0	38.2	42.0	(66.2)	100.0	17.6	37.6	44.0	(65.4)	100.0	22.9	39.7	36.6
60～65歳	(34.0)	100.0	17.5	40.2	40.4	(33.8)	100.0	14.4	40.2	43.6	(34.6)	100.0	25.7	40.3	32.3
パート・アルバイト	(100.0)	100.0	16.4	44.3	37.1	(100.0)	100.0	13.7	41.6	42.2	(100.0)	100.0	17.2	45.1	35.6
56～59歳	(35.7)	100.0	15.4	43.0	40.0	(15.2)	100.0	5.2	39.3	55.6	(41.6)	100.0	16.5	43.4	38.4
60～65歳	(64.3)	100.0	17.0	45.0	35.5	(84.8)	100.0	15.2	42.0	39.9	(58.4)	100.0	17.8	46.3	33.6
就業時間・休日															
総数	(100.0)	100.0	25.3	49.8	20.6	(100.0)	100.0	24.9	50.6	20.8	(100.0)	100.0	25.9	48.7	20.3
56～59歳	(40.3)	100.0	24.8	49.0	23.7	(39.0)	100.0	23.7	50.0	23.9	(42.1)	100.0	26.0	47.8	23.5
60～65歳	(59.7)	100.0	25.7	50.3	18.4	(61.0)	100.0	25.6	51.0	18.8	(57.9)	100.0	25.8	49.4	18.0
（再掲）第7回の仕事のかたち 正規の職員・従業員	(100.0)	100.0	25.3	48.8	24.4	(100.0)	100.0	24.6	50.0	24.0	(100.0)	100.0	27.2	45.8	25.6
56～59歳	(66.0)	100.0	25.4	48.6	25.0	(66.2)	100.0	24.8	49.6	24.5	(65.4)	100.0	27.0	45.9	26.4
60～65歳	(34.0)	100.0	25.1	49.3	23.4	(33.8)	100.0	24.1	50.7	23.0	(34.6)	100.0	27.6	45.7	24.2
パート・アルバイト	(100.0)	100.0	26.1	51.8	19.5	(100.0)	100.0	23.9	53.8	19.3	(100.0)	100.0	26.7	51.2	19.6
56～59歳	(35.7)	100.0	24.2	51.5	22.4	(15.2)	100.0	9.6	61.5	27.4	(41.6)	100.0	25.7	50.5	21.8
60～65歳	(64.3)	100.0	27.1	51.9	18.0	(84.8)	100.0	26.5	52.5	17.9	(58.4)	100.0	27.3	51.7	18.0
仕事の内容・やりがい															
総数	(100.0)	100.0	33.6	50.4	12.7	(100.0)	100.0	33.0	49.9	13.9	(100.0)	100.0	34.4	51.0	11.0
56～59歳	(40.3)	100.0	32.5	49.9	15.4	(39.0)	100.0	32.2	48.5	17.4	(42.1)	100.0	33.0	51.6	13.0
60～65歳	(59.7)	100.0	34.4	50.7	10.8	(61.0)	100.0	33.6	50.8	11.7	(57.9)	100.0	35.4	50.6	9.6
（再掲）第7回の仕事のかたち 正規の職員・従業員	(100.0)	100.0	31.8	50.3	16.5	(100.0)	100.0	28.8	51.6	18.2	(100.0)	100.0	39.9	46.9	11.9
56～59歳	(66.0)	100.0	31.2	49.4	18.5	(66.2)	100.0	28.6	50.2	20.2	(65.4)	100.0	38.1	47.0	14.1
60～65歳	(34.0)	100.0	33.1	52.2	12.5	(33.8)	100.0	29.2	54.3	14.3	(34.6)	100.0	43.3	46.7	7.8
パート・アルバイト	(100.0)	100.0	28.0	56.1	13.6	(100.0)	100.0	22.0	59.0	16.0	(100.0)	100.0	29.7	55.2	12.9
56～59歳	(35.7)	100.0	26.8	55.8	15.5	(15.2)	100.0	15.6	57.8	25.9	(41.6)	100.0	28.0	55.5	14.4
60～65歳	(64.3)	100.0	28.7	56.2	12.6	(84.8)	100.0	23.2	59.2	14.2	(58.4)	100.0	31.0	55.0	11.9

注：１）第7回に仕事をしている者を集計。
　　２）総数には第7回の仕事への満足感の不詳を含む。

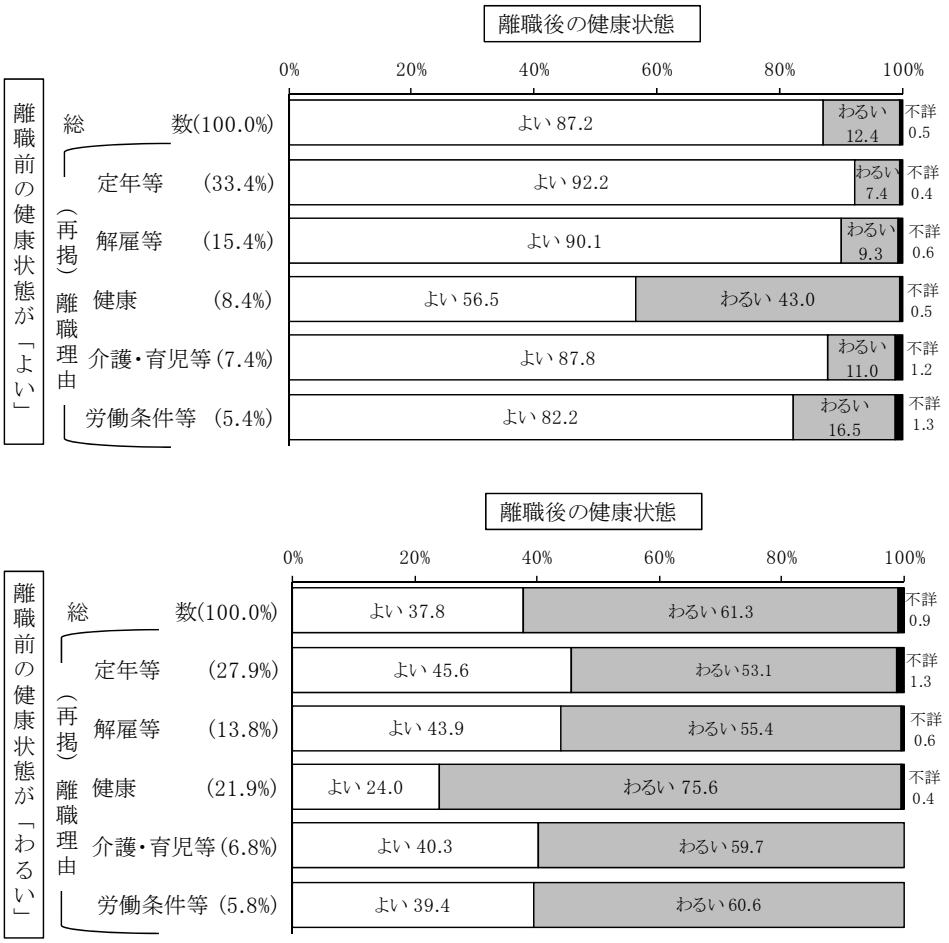
（2）離職後に仕事をしていない者の状況

離職前後とも健康状態がよい割合は「定年等」で離職した者が 92.2%、わるい割合は「健康」を理由に離職した者が 75.6%

第2回調査から第7回調査までに「収入を伴う仕事をやめたことがある」と回答のあった者のうち、離職前（調査年の前年 11 月～調査年の 10 月までの1年間に、収入を伴う仕事をやめた経験がある前年の調査時点での状況）に仕事をしており、離職後（調査年の前年 11 月～調査年の 10 月までの1年間に、収入を伴う仕事をやめた経験のある調査時点での状況）には仕事をしていない者（以下、「離職後に仕事をしていない者」という。）について、離職理由別に離職前後の健康状態をみると、離職前後とも「よい」割合は「定年等」で 92.2%と高くなっており、離職前後とも「わるい」割合は「健康」で 75.6%と高くなっている。

また、離職前「よい」から離職後「わるい」に変化した割合をみると、「健康」で 43.0%と高くなっている。（図4）

図4 離職前後の健康状態の変化



注：1）第2回調査から第7回調査までに「収入を伴う仕事をやめたことがある」と回答のあった者のうち、離職前（調査年の前年11月～調査年の10月までの1年間に、収入を伴う仕事をやめた経験がある前年の調査時点での状況）に仕事をしており、離職後（調査年の前年11月～調査年の10月までの1年間に、収入を伴う仕事をやめた経験のある調査時点での状況）には仕事をしていない者（以下、「離職後に仕事をしていない者」という。）を集計。

2）（再掲）離職理由とは、第2回から第7回までに「収入を伴う仕事をやめたことがある」と回答した調査回での「仕事をやめた理由（複数回答）」を以下のとおり分類したものをいう。

・「定年等」 － 仕事をやめた理由が「定年のため」「契約期間が満了したから」「新しい仕事が見つかったから」「年金を受給し始めたから」

・「解雇等」 － 仕事をやめた理由が「希望退職に応じたから」「倒産したから」「解雇されたから」

・「健康」 － 仕事をやめた理由が「健康がすぐれなかったから」

・「介護・育児等」 － 仕事をやめた理由が「家族の介護・看護のため」「子・孫の育児のため」

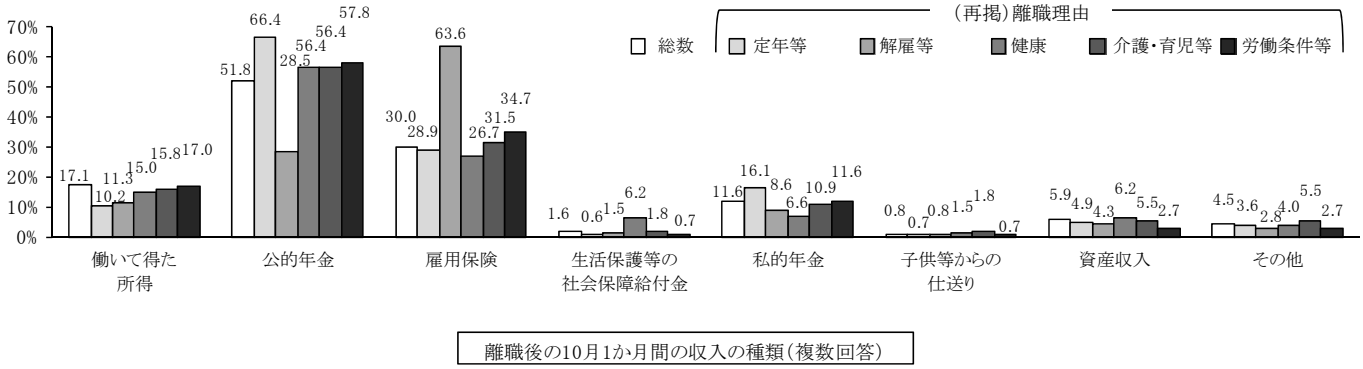
・「労働条件等」 － 仕事をやめた理由が「人間関係がうまくいかなかったから」「労働条件が不満になったから」

3）離職前の健康状態が「よい」「わるい」ごとの総数及び（再掲）離職理由ごとの総数を100とした割合である。

離職後の 10 月1か月間の収入の種類は、「解雇等」以外の理由で離職した者で「公的年金」の割合が高い

離職前後ともに、10 月 1 か月間の収入がある者について、離職後の 10 月1か月間に得た収入の種類をみると、「公的年金」の割合が高くなっているが、離職理由が「解雇等」では、「雇用保険」の割合が高くなっている。(図5)

図5 離職前後ともに 10 月 1 か月間の収入がある者の離職後 10 月1か月間の収入の種類(複数回答)



注：1) 第2回調査から第7回調査までに「収入を伴う仕事をやめたことがある」と回答のあった者のうち、離職前(調査年の前年11月～調査年の10月までの1年間に、収入を伴う仕事をやめた経験がある前年の調査時点での状況)に仕事をしており、離職後(調査年の前年11月～調査年の10月までの1年間に、収入を伴う仕事をやめた経験のある調査時点での状況)には仕事をしていない者(以下、「離職後に仕事をしていない者」という。)について、離職前後ともに10月1か月間の収入がある者を集計。

2) (再掲)離職理由とは、第2回から第7回までに「収入を伴う仕事をやめたことがある」と回答した調査回での「仕事をやめた理由(複数回答)」を以下のとおり分類したものをいう。

・「定年等」 － 仕事をやめた理由が「定年のため」「契約期間が満了したから」「新しい仕事が見つかったから」「年金を受給し始めたから」

・「解雇等」 － 仕事をやめた理由が「希望退職に応じたから」「倒産したから」「解雇されたから」

・「健康」 － 仕事をやめた理由が「健康がすぐれなかったから」

・「介護・育児等」 － 仕事をやめた理由が「家族の介護・看護のため」「子・孫の育児のため」

・「労働条件等」 － 仕事をやめた理由が「人間関係がうまくいかなかったから」「労働条件が不満になったから」

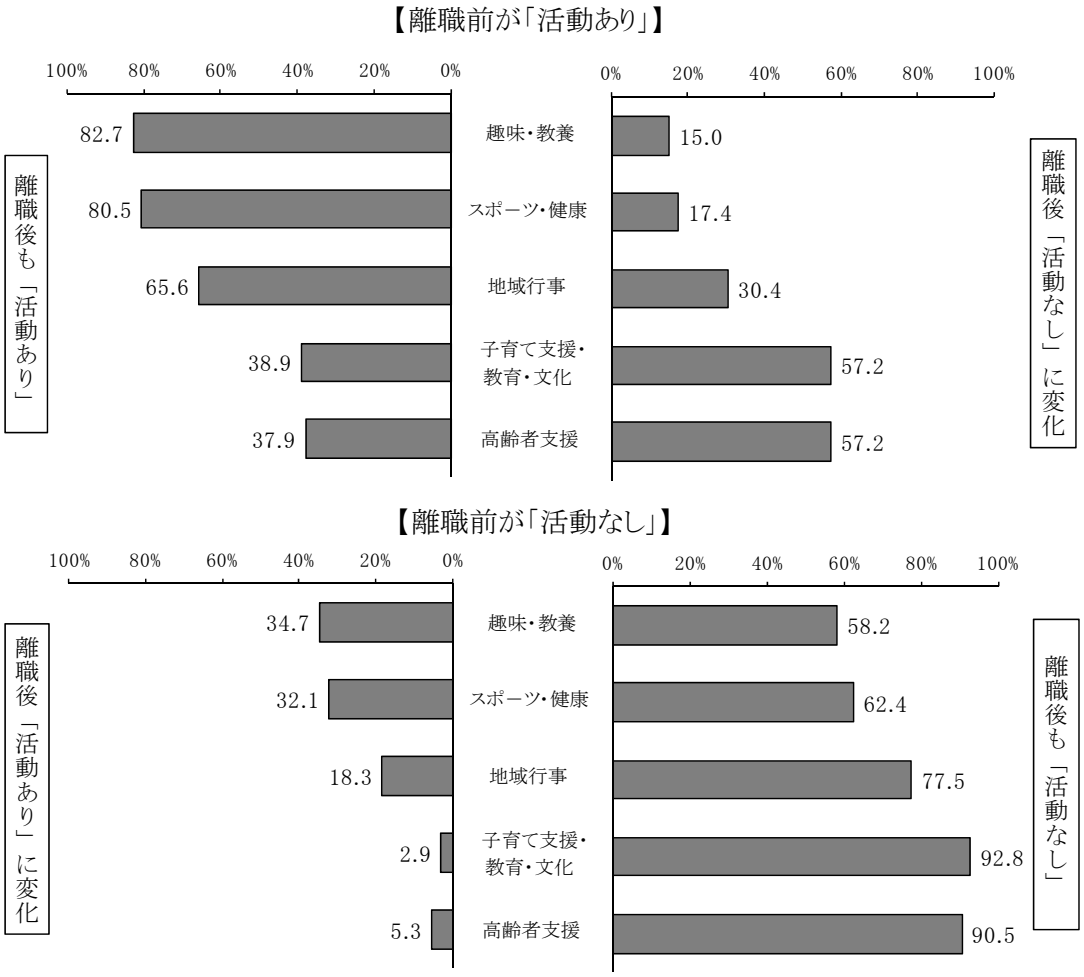
3) 離職前後ともに10月1か月間の収入がある者の総数及び(再掲)離職理由ごとの総数を100とした割合である。

離職前後での活動が継続している、離職後に活動を始めている割合は、「趣味・教養」「スポーツ・健康」「地域行事」が高く、離職後に活動をやめている割合は、「子育て支援・教育・文化」「高齢者支援」が高い

離職前後での社会参加活動の有無の変化をみると、離職前後での活動が継続している、離職後に活動を始めている場合に「趣味・教養」「スポーツ・健康」「地域行事」の割合が高くなっており、離職前後とも「活動あり」では、「趣味・教養」82.7%、「スポーツ・健康」80.5%、「地域行事」65.6%、離職前「活動なし」から離職後「活動あり」に変化では、「趣味・教養」34.7%、「スポーツ・健康」32.1%、「地域行事」18.3%となっている。

また、離職後に活動をやめている場合に「子育て支援・教育・文化」「高齢者支援」の割合が高くなっており、離職前「活動あり」から離職後「活動なし」では、「子育て支援・教育・文化」57.2%、「高齢者支援」57.2%となっている。（図6）

図6　離職前後の社会参加活動の有無の変化



注：1）第2回調査から第7回調査までに「収入を伴う仕事をやめたことがある」と回答のあった者のうち、離職前（調査年の前年11月～調査年の10月までの1年間に、収入を伴う仕事をやめた経験がある前年の調査時点での状況）に仕事をしており、離職後（調査年の前年11月～調査年の10月までの1年間に、収入を伴う仕事をやめた経験のある調査時点での状況）には仕事をしていない者（以下、「離職後に仕事をしていない者」という。）を集計。

2）離職前の社会参加活動の有無が「活動あり」「活動なし」ごとの総数を100とした割合である。

離職後に仕事をしたい割合は 54.0%で、希望する仕事のかたちは「雇われて働く」割合が高い

離職後に仕事をしていない者の仕事をしたい割合は 54.0%となっている。離職理由別にみると、「解雇等」では 77.9%と最も高くなっている。また、離職理由別に仕事をしたくない割合をみると、女では「介護・育児等」が 50.3%、「定年等」が 48.4%、「健康」が 43.5%と高くなっている。

仕事をしたい者について、希望する仕事のかたちの割合を性別にみると、男では「雇われて働く（フルタイム労働）」が 37.8%、女では「雇われて働く（パートタイム労働）」が 59.1%となっている。（表5）

表5 離職後の就業希望の有無・希望する仕事のかたち

（単位：%）

		離職後の就業希望の有無・希望する仕事のかたち										
		総数	仕事をしたい	自営業主	家業の手伝い	家庭での内職など	雇われて働く（フルタイム労働）	雇われて働く（パートタイム労働）	近所の人や会社に頼まれて任意で行う仕事	有償型の社会参加活動	その他	仕事をしたくない
総数		(100.0) 100.0	54.0	2.5	1.2	3.4	11.2	25.7	2.6	2.6	1.7	41.4
			(100.0)	(4.6)	(2.3)	(6.3)	(20.8)	(47.5)	(4.8)	(4.8)	(3.2)	
	男	(41.0) 100.0	57.3	4.4	0.7	0.8	21.6	18.7	3.1	2.8	2.0	37.6
			(100.0)	(7.7)	(1.1)	(1.4)	(37.8)	(32.6)	(5.5)	(4.9)	(3.4)	
	女	(59.0) 100.0	51.7	1.2	1.6	5.2	4.0	30.5	2.2	2.4	1.5	44.1
			(100.0)	(2.2)	(3.1)	(10.0)	(7.7)	(59.1)	(4.3)	(4.6)	(3.0)	
（再掲）離職理由	定年等	(100.0) 100.0	53.7	1.5	0.4	1.5	11.1	29.2	2.9	3.3	1.6	44.5
			(100.0)	(2.8)	(0.8)	(2.8)	(20.6)	(54.3)	(5.4)	(6.2)	(2.9)	
	男	(57.8) 100.0	56.8	2.4	0.3	0.8	16.7	26.0	3.8	3.6	1.3	41.7
			(100.0)	(4.2)	(0.5)	(1.4)	(29.4)	(45.8)	(6.8)	(6.4)	(2.4)	
	女	(42.2) 100.0	49.5	0.3	0.7	2.5	3.4	33.5	1.6	2.9	1.8	48.4
			(100.0)	(0.5)	(1.3)	(5.0)	(6.9)	(67.6)	(3.2)	(5.8)	(3.7)	
	解雇等	(100.0) 100.0	77.9	2.4	0.6	1.7	27.9	36.2	2.6	1.7	1.3	20.5
			(100.0)	(3.0)	(0.8)	(2.1)	(35.9)	(46.4)	(3.3)	(2.1)	(1.7)	
	男	(44.8) 100.0	82.4	4.7	0.3	0.5	47.4	20.0	2.1	2.1	1.8	15.5
			(100.0)	(5.8)	(0.3)	(0.6)	(57.5)	(24.3)	(2.6)	(2.6)	(2.2)	
	女	(55.2) 100.0	74.4	0.4	0.9	2.6	12.2	49.4	3.0	1.3	0.9	24.6
			(100.0)	(0.6)	(1.1)	(3.4)	(16.4)	(66.4)	(4.0)	(1.7)	(1.1)	
	健康	(100.0) 100.0	55.9	2.6	1.1	4.6	7.4	29.6	2.7	1.9	2.7	40.4
			(100.0)	(4.6)	(2.0)	(8.3)	(13.2)	(53.0)	(4.9)	(3.4)	(4.9)	
	男	(33.0) 100.0	61.2	5.8	0.5	2.4	16.0	24.3	4.4	1.5	3.9	34.0
			(100.0)	(9.5)	(0.8)	(4.0)	(26.2)	(39.7)	(7.1)	(2.4)	(6.3)	
	女	(67.0) 100.0	53.3	1.0	1.4	5.7	3.1	32.3	1.9	2.2	2.2	43.5
			(100.0)	(1.8)	(2.7)	(10.8)	(5.8)	(60.5)	(3.6)	(4.0)	(4.0)	
	介護・育児等	(100.0) 100.0	49.1	1.2	1.5	4.7	4.4	28.3	2.7	2.2	1.5	48.9
			(100.0)	(2.5)	(3.0)	(9.5)	(9.0)	(57.5)	(5.5)	(4.5)	(3.0)	
	男	(16.0) 100.0	58.5	4.6	3.1	3.1	20.0	15.4	4.6	1.5	4.6	41.5
			(100.0)	(7.9)	(5.3)	(5.3)	(34.2)	(26.3)	(7.9)	(2.6)	(7.9)	
	女	(84.0) 100.0	47.4	0.6	1.2	5.0	1.5	30.7	2.3	2.3	0.9	50.3
			(100.0)	(1.2)	(2.5)	(10.5)	(3.1)	(64.8)	(4.9)	(4.9)	(1.9)	
	労働条件等	(100.0) 100.0	64.6	1.0	1.3	1.3	16.9	34.8	2.6	1.7	2.0	34.1
			(100.0)	(1.5)	(2.1)	(2.1)	(26.2)	(53.8)	(4.1)	(2.6)	(3.1)	
	男	(36.8) 100.0	70.3	2.7	0.9	1.8	36.0	16.2	3.6	0.9	4.5	29.7
			(100.0)	(3.8)	(1.3)	(2.6)	(51.3)	(23.1)	(5.1)	(1.3)	(6.4)	
	女	(63.2) 100.0	61.3	－	1.6	1.0	5.8	45.5	2.1	2.1	0.5	36.6
			(100.0)	(－)	(2.6)	(1.7)	(9.4)	(74.4)	(3.4)	(3.4)	(0.9)	

注：1）第2回調査から第7回調査までに「収入を伴う仕事をやめたことがある」と回答のあった者のうち、離職前（調査年の前年11月～調査年の10月までの1年間に、収入を伴う仕事をやめた経験がある前年の調査時点での状況）に仕事をしており、離職後（調査年の前年11月～調査年の10月までの1年間に、収入を伴う仕事をやめた経験のある調査時点での状況）には仕事をしていない者（以下、「離職後に仕事をしていない者」という。）を集計。

2）（再掲）離職理由とは、第2回から第7回までに「収入を伴う仕事をやめたことがある」と回答した調査回での「仕事をやめた理由（複数回答）」を以下のとおり分類したものをいう。

・「定年等」 － 仕事をやめた理由が「定年のため」「契約期間が満了したから」「新しい仕事が見つかったから」「年金を受給し始めたから」

・「解雇等」 － 仕事をやめた理由が「希望退職に応じたから」「倒産したから」「解雇されたから」

・「健康」 － 仕事をやめた理由が「健康がすぐれなかったから」

・「介護・育児等」 － 仕事をやめた理由が「家族の介護・看護のため」「子・孫の育児のため」

・「労働条件等」 － 仕事をやめた理由が「人間関係がうまくいかなかったから」「労働条件が不満になったから」

3）総数には離職後の就業希望の有無・希望する仕事のかたちの不詳を含む。

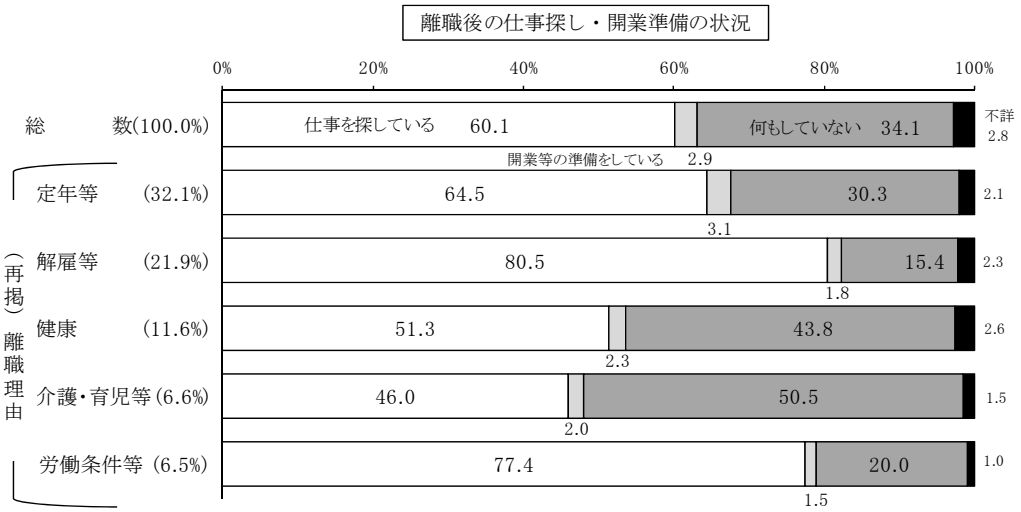
離職後に仕事を探していない理由が、「急いで仕事につく必要がない」では離職理由が「定年等」、「病気・けがのため」では離職理由が「健康」、「家族の介護・看護のため」では離職理由が「介護・育児等」で高い

離職後に仕事をしたい者について、仕事探し・開業準備の状況をみると、「仕事を探している」割合は 60.1%となっており、離職理由別にみると、「解雇等」が 80.5%、「労働条件等」が 77.4%と高くなっている(図7)。

また、仕事探し・開業準備を「何もしていない」割合は 34.1%となっており、仕事を探していない理由をみると、「急いで仕事につく必要がない」では離職理由が「定年等」の割合が高くなっている。

また、「病気・けがのため」では離職理由が「健康」、「家族の介護・看護のため」では離職理由が「介護・育児等」の割合が高くなっており、仕事を探していない理由を離職理由と同様とする割合が高くなっている(図7、図8)。

図7 離職後の就業希望の有無、仕事探し・開業準備の状況



注：1）第2回調査から第7回調査までに「収入を伴う仕事をやめたことがある」と回答のあった者のうち、離職前(調査年の前年11月～調査年の10月までの1年間に、収入を伴う仕事をやめた経験がある前年の調査時点での状況)に仕事をしており、離職後(調査年の前年11月～調査年の10月までの1年間に、収入を伴う仕事をやめた経験のある調査時点での状況)には仕事をしていない者(以下、「離職後に仕事をしていない者」という。)について、離職後仕事をしたい者を集計。

2）(再掲)離職理由とは、第2回から第7回までに「収入を伴う仕事をやめたことがある」と回答した調査回での「仕事をやめた理由(複数回答)」を以下のとおり分類したものをいう。

・「定年等」 － 仕事をやめた理由が「定年のため」「契約期間が満了したから」「新しい仕事が見つかったから」「年金を受給し始めたから」

・「解雇等」 － 仕事をやめた理由が「希望退職に応じたから」「倒産したから」「解雇されたから」

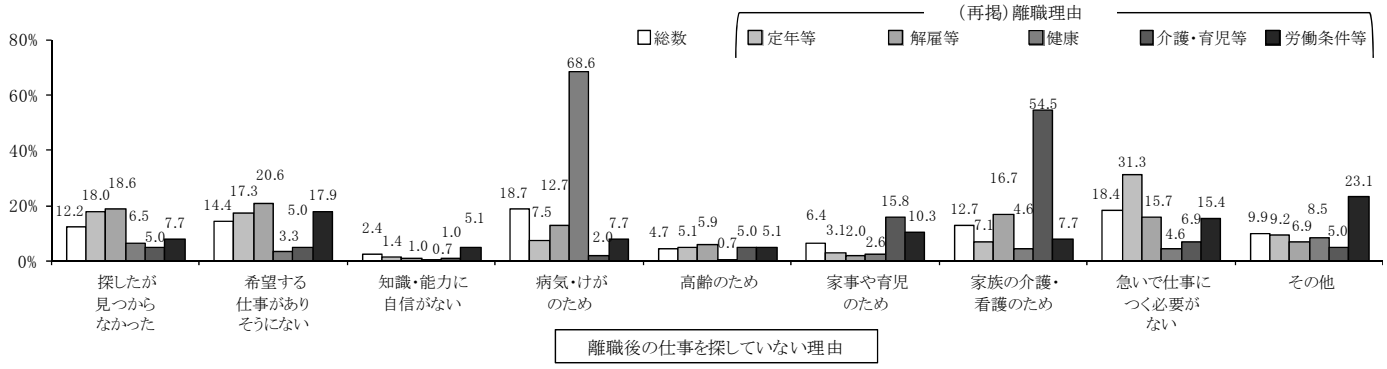
・「健康」 － 仕事をやめた理由が「健康がすぐれなかったから」

・「介護・育児等」 － 仕事をやめた理由が「家族の介護・看護のため」「子・孫の育児のため」

・「労働条件等」 － 仕事をやめた理由が「人間関係がうまくいかなかったから」「労働条件が不満になったから」

3）離職後仕事をしたい者の総数及び(再掲)離職理由ごとの総数を100とした割合である。

図8 仕事探しや開業準備を何もしていない者の離職後の仕事を探していない理由



注：1）第2回調査から第7回調査までに「収入を伴う仕事をやめたことがある」と回答のあった者のうち、離職前(調査年の前年11月～調査年の10月までの1年間に、収入を伴う仕事をやめた経験がある前年の調査時点での状況)に仕事をしており、離職後(調査年の前年11月～調査年の10月までの1年間に、収入を伴う仕事をやめた経験のある調査時点での状況)には仕事をしていない者(以下、「離職後に仕事をしていない者」という。)について、離職後仕事をしたいが仕事探し・開業準備を何もしていない者を集計。

2）(再掲)離職理由とは、第2回から第7回までに「収入を伴う仕事をやめたことがある」と回答した調査回での「仕事をやめた理由(複数回答)」を以下のとおり分類したものをいう。

・「定年等」 － 仕事をやめた理由が「定年のため」「契約期間が満了したから」「新しい仕事が見つかったから」「年金を受給し始めたから」

・「解雇等」 － 仕事をやめた理由が「希望退職に応じたから」「倒産したから」「解雇されたから」

・「健康」 － 仕事をやめた理由が「健康がすぐれなかったから」

・「介護・育児等」 － 仕事をやめた理由が「家族の介護・看護のため」「子・孫の育児のため」

・「労働条件等」 － 仕事をやめた理由が「人間関係がうまくいかなかったから」「労働条件が不満になったから」

3）離職後仕事をしたいが仕事探し・開業準備を何もしていない者の総数及び(再掲)離職理由ごとの総数を100とした割合である。

参　　考

参考1

各図表の集計客体数は以下のとおり。

図表番号	集計対象	客体数		
		総数	男	女
図1、表1、表2、図2、図3、表3	第1回から第7回まで回答した者	23 672	11 080	12 592
表4	第7回に仕事をしている者	15 740	8 868	6 872
	（再掲）第7回の仕事のかたちが「正規の職員・従業員」の者	4 324	3 141	1 183
	（再掲）第7回の仕事のかたちが「パート・アルバイト」の者	3 973	890	3 083
	56～59歳	6 349	3 457	2 892
	（再掲）第7回の仕事のかたちが「正規の職員・従業員」の者	2 852	2 078	774
	（再掲）第7回の仕事のかたちが「パート・アルバイト」の者	1 417	135	1 282
	60～65歳	9 391	5 411	3 980
	（再掲）第7回の仕事のかたちが「正規の職員・従業員」の者	1 472	1 063	409
	（再掲）第7回の仕事のかたちが「パート・アルバイト」の者	2 556	755	1 801
図4、図6、表5	第2回調査から第7回調査までに「収入を伴う仕事をやめたことがある」と回答のあった者のうち、離職前に仕事をしており、離職後には仕事をしていない者（「離職後に仕事をしていない者」）	5 596	2 296	3 300
図4、表5	（再掲）離職理由「定年等」の者	1 803	1 042	761
	（再掲）離職理由「解雇等」の者	848	380	468
	（再掲）離職理由「健康」の者	624	206	418
	（再掲）離職理由「介護・育児等」の者	407	65	342
	（再掲）離職理由「労働条件等」の者	302	111	191
図5	離職前後ともに、10月1か月間の収入がある者	2 992		
	（再掲）離職理由「定年等」の者	1 367		
	（再掲）離職理由「解雇等」の者	533		
	（再掲）離職理由「健康」の者	273		
	（再掲）離職理由「介護・育児等」の者	165		
	（再掲）離職理由「労働条件等」の者	147		
図7	離職後に仕事をしたい者	3 021		
	（再掲）離職理由「定年等」の者	969		
	（再掲）離職理由「解雇等」の者	661		
	（再掲）離職理由「健康」の者	349		
	（再掲）離職理由「介護・育児等」の者	200		
	（再掲）離職理由「労働条件等」の者	195		
図8	離職後仕事をしたいが仕事探し・開業準備を何もしていない者	1 031		
	（再掲）離職理由「定年等」の者	294		
	（再掲）離職理由「解雇等」の者	102		
	（再掲）離職理由「健康」の者	153		
	（再掲）離職理由「介護・育児等」の者	101		
	（再掲）離職理由「労働条件等」の者	39		

参考2

図に掲載した項目の構成割合は以下のとおり。

図2　第1回調査からの健康状態の変化が「第1回からずっと「よい」」、「「よい」から「わるい」に変化」の第1回から継続して健康維持のために心がけていること（複数回答）の割合

（単位：%）

		第1回からの健康状態の変化		
		総数	第1回から ずっと「よい」	「よい」から 「わるい」に変化
第1回から健康維持のために心がけていること（複数回答）	総数	(100.0)	(55.6)	(5.9)
		100.0	100.0	100.0
	お酒を飲み過ぎない	5.0	5.8	4.1
	たばこを吸い過ぎない	2.3	2.4	1.6
	適度な運動をする	15.5	19.0	10.7
	年に1回以上人間ドックを受診する	5.2	6.4	4.6
	食事の量に注意する	16.4	17.8	13.7
	バランスを考え多様な食品を取る	14.7	17.2	12.6
	錠剤、カプセル、顆粒、ドリンク状のビタミンやミネラルを摂取する	4.8	4.8	4.9
	適正体重を維持する	13.4	16.1	9.5
	食後の歯磨きをする	14.1	16.1	11.7
	適度な休養をとる	8.7	9.7	8.3
	ストレスをためない	13.3	15.9	10.4
	特にない	0.5	0.4	0.5
	男	(100.0)	(54.7)	(5.7)
		100.0	100.0	100.0
	お酒を飲み過ぎない	8.9	10.4	7.4
	たばこを吸い過ぎない	3.6	4.0	2.8
	適度な運動をする	14.5	17.8	9.7
	年に1回以上人間ドックを受診する	6.4	8.2	5.3
	食事の量に注意する	13.2	14.4	10.2
	バランスを考え多様な食品を取る	7.0	8.7	5.5
	錠剤、カプセル、顆粒、ドリンク状のビタミンやミネラルを摂取する	3.6	3.8	3.1
	適正体重を維持する	10.9	13.1	7.4
	食後の歯磨きをする	8.5	10.2	5.8
	適度な休養をとる	6.2	7.0	6.1
	ストレスをためない	10.9	13.3	7.8
	特にない	0.7	0.6	0.6
	女	(100.0)	(56.4)	(6.0)
		100.0	100.0	100.0
	お酒を飲み過ぎない	1.6	1.8	1.3
	たばこを吸い過ぎない	1.1	1.1	0.5
	適度な運動をする	16.5	20.0	11.6
	年に1回以上人間ドックを受診する	4.2	4.9	3.9
	食事の量に注意する	19.2	20.6	16.6
	バランスを考え多様な食品を取る	21.4	24.5	18.6
	錠剤、カプセル、顆粒、ドリンク状のビタミンやミネラルを摂取する	5.8	5.7	6.4
	適正体重を維持する	15.7	18.6	11.3
	食後の歯磨きをする	19.2	21.1	16.6
	適度な休養をとる	10.9	12.0	10.1
	ストレスをためない	15.4	18.1	12.5
	特にない	0.4	0.3	0.4

注：総数には第1回からの健康状態の変化の「「わるい」から「よい」に変化」、「第1回からずっと「わるい」」、「その他の変化」及び不詳を含む。

図3　第1回調査からの社会参加活動の変化別にみた第7回調査の健康状態が「よい」割合

（単位：%）

		第7回の健康状態		
		総数	よい	わるい
第1回からの社会参加活動の変化	総数	(100.0) 100.0	80.1	19.1
	趣味・教養			
	第1回から活動あり	(28.4) 100.0	86.0	13.2
	活動「なし」から「あり」に変化	(7.9) 100.0	82.5	17.0
	活動「あり」から「なし」に変化	(4.7) 100.0	73.6	25.6
	第1回から活動なし	(6.3) 100.0	72.0	27.5
	スポーツ・健康			
	第1回から活動あり	(19.5) 100.0	89.0	10.5
	活動「なし」から「あり」に変化	(9.2) 100.0	83.1	16.2
	活動「あり」から「なし」に変化	(4.3) 100.0	75.0	24.0
	第1回から活動なし	(16.6) 100.0	75.2	24.1
	地域行事			
	第1回から活動あり	(8.6) 100.0	85.1	14.4
	活動「なし」から「あり」に変化	(10.6) 100.0	85.3	14.3
	活動「あり」から「なし」に変化	(3.0) 100.0	77.2	21.9
	第1回から活動なし	(26.4) 100.0	79.7	19.7

注：総数には第7回の健康状態及び第1回からの社会参加活動の変化の「その他」及び不詳を含む。

図5 離職前後ともに 10 月1か月間の収入がある者の離職後 10 月1か月間の収入の種類(複数回答)

(単位:%)

	離職後10月1か月間の収入の種類(複数回答)									
	総数		働いて得た所得	公的年金	雇用保険	生活保護等の社会保障給付金	私的年金	子供等からの仕送り	資産収入	その他
総数	(100.0)	100.0	17.1	51.8	30.0	1.6	11.6	0.8	5.9	4.5
離職理由(再掲) 定年等	(45.7)	100.0	10.2	66.4	28.9	0.6	16.1	0.7	4.9	3.6
解雇等	(17.8)	100.0	11.3	28.5	63.6	1.5	8.6	0.8	4.3	2.8
健康	(9.1)	100.0	15.0	56.4	26.7	6.2	6.6	1.5	6.2	4.0
介護・育児等	(5.5)	100.0	15.8	56.4	31.5	1.8	10.9	1.8	5.5	5.5
労働条件等	(4.9)	100.0	17.0	57.8	34.7	0.7	11.6	0.7	2.7	2.7

注:第2回調査から第7回調査までに「収入を伴う仕事をやめたことがある」と回答のあった者のうち、離職前に仕事をしており、離職後には仕事をしていない者(「離職後に仕事をしていない者」)について、離職前後ともに10月1か月間の収入がある者を集計。

図6 離職前後の社会参加活動の有無の変化

(単位:%)

		離職後の社会参加活動の有無			
		総数		活動あり	活動なし
離職前の社会参加活動の有無	趣味・教養				
	総数	(100.0)	100.0	63.4	31.0
	活動あり	(60.0)	100.0	82.7	15.0
	活動なし	(33.4)	100.0	34.7	58.2
	スポーツ・健康				
	総数	(100.0)	100.0	51.6	42.8
	活動あり	(41.4)	100.0	80.5	17.4
	活動なし	(51.7)	100.0	32.1	62.4
	地域行事				
	総数	(100.0)	100.0	31.8	62.3
	活動あり	(28.9)	100.0	65.6	30.4
	活動なし	(64.3)	100.0	18.3	77.5
	子育て支援・教育・文化				
	総数	(100.0)	100.0	4.0	90.0
	活動あり	(3.2)	100.0	38.9	57.2
	活動なし	(89.8)	100.0	2.9	92.8
	高齢者支援				
	総数	(100.0)	100.0	7.3	86.8
	活動あり	(6.2)	100.0	37.9	57.2
	活動なし	(86.8)	100.0	5.3	90.5

注 : 1)第2回調査から第7回調査までに「収入を伴う仕事をやめたことがある」と回答のあった者のうち、離職前に仕事をしており、離職後には仕事をしていない者(「離職後に仕事をしていない者」)を集計。
2)総数には離職前後の社会参加活動の有無の不詳を含む。

図8 仕事探しや開業準備を何もしていない者の離職後の仕事を探していない理由

(単位:%)

	離職後の仕事を探していない理由										
	総数		探したが見つからなかった	希望する仕事がありそうにない	知識・能力に自信がない	病気・けがのため	高齢のため	家事や育児のため	家族の介護・看護のため	急いで仕事につく必要がない	その他
総数	(100.0)	100.0	12.2	14.4	2.4	18.7	4.7	6.4	12.7	18.4	9.9
離職理由(再掲) 定年等	(28.5)	100.0	18.0	17.3	1.4	7.5	5.1	3.1	7.1	31.3	9.2
解雇等	(9.9)	100.0	18.6	20.6	1.0	12.7	5.9	2.0	16.7	15.7	6.9
健康	(14.8)	100.0	6.5	3.3	0.7	68.6	0.7	2.6	4.6	4.6	8.5
介護・育児等	(9.8)	100.0	5.0	5.0	1.0	2.0	5.0	15.8	54.5	6.9	5.0
労働条件等	(3.8)	100.0	7.7	17.9	5.1	7.7	5.1	10.3	7.7	15.4	23.1

注 : 1) 第2回調査から第7回調査までに「収入を伴う仕事をやめたことがある」と回答のあった者のうち、離職前に仕事をしており、離職後には仕事をしていない者(「離職後に仕事をしていない者」)について、離職後仕事をしたいが仕事探し・開業準備を何もしていない者を集計。
2) 総数には離職後の仕事を探していない理由の不詳を含む。

用　語　の　定　義

調査年

「第1回」～「第7回」とは、それぞれの回の調査で把握した項目で、各調査年は次のとおり。

第1回（第1回調査）　平成17年
第2回（第2回調査）　平成18年
第3回（第3回調査）　平成19年
第4回（第4回調査）　平成20年
第5回（第5回調査）　平成21年
第6回（第6回調査）　平成22年
第7回（第7回調査）　平成23年

世帯構成

同居している者の続柄から分類している。「単独世帯」「夫婦のみの世帯」以外は、兄弟姉妹やその他の親族がいる場合を含む。親には配偶者の親も含む。

「単独世帯」

配偶者の有無を問わず、本人以外に同居者がいない場合

「夫婦のみの世帯」

本人と配偶者以外に同居者がいない場合

「三世代世帯」

本人が親・子と同居している、本人が子・孫と同居している、または子の有無を問わず本人が親・孫と同居している場合

「親あり子なしの世帯」

本人と親が同居していて、子がいない場合

「親なし子ありの世帯」

本人と子が同居していて、親がいない場合

「その他の世帯」

上記以外

「配偶者」「夫婦」

事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない者も含む。

健康状態

「よい」

調査日現在の健康状態について、「大変良い」「良い」「どちらかといえば良い」と回答した者をいう。

「わるい」

調査日現在の健康状態について、「どちらかといえば悪い」「悪い」「大変悪い」と回答した者をいう。

健康状態の変化

「第1回からずっと「よい」」

第1回から第7回までの健康状態において、継続して「よい」と回答した者をいう。

「「わるい」から「よい」に変化」

第1回の健康状態が「わるい」と回答した者のうち、第7回までに「よい」となった場合をいう。第2回で「よい」、第3回で「わるい」と回答した場合、「その他の変化」としている。

「「よい」から「わるい」に変化」

第1回の健康状態が「よい」と回答した者のうち、第7回までに「わるい」となった場合をいう。第2回で「わるい」、第3回で「よい」と回答した場合、「その他の変化」としている。

「第1回からずっと「わるい」」

第1回から第7回までの健康状態において、継続して「わるい」と回答した者をいう。

継続して健康維持のために心がけていること

健康維持のために心がけていること(「お酒を飲み過ぎない」「たばこを吸い過ぎない」「適度な運動をする」「年に1回以上人間ドックを受診する」「バランスを考え多様な食品を取る」「錠剤、カプセル、顆粒、ドリンク状のビタミンやミネラルを摂取する」「適正体重を維持する」「食後の歯磨きをする」「適度な休養をとる」「ストレスをためない」「特にない」)について、第1回から第7回まで継続して同じ内容を選択したものをいう。

社会参加活動の変化

「第1回から活動あり」

第1回から第7回までの社会参加活動において、継続して「あり」と回答した者をいう。

「活動「なし」から「あり」に変化」

第1回の社会参加活動について「なし」と回答した者のうち、第7回までに「あり」となった場合をいう。第2回で「あり」、第3回で「なし」と回答した場合、「その他の変化」としている。

「活動「あり」から「なし」に変化」

第1回の社会参加活動について「あり」と回答した者のうち、第7回までに「なし」となった場合をいう。第2回で「なし」、第3回で「あり」と回答した場合、「その他の変化」としている。

「第1回から活動なし」

第1回から第7回までの社会参加活動において、継続して「なし」と回答した者をいう。

就業状況

「仕事をしている」

ふだん収入になる仕事をしている場合をいう。

「仕事をしていない」

パート・アルバイト、内職等も全くしていない場合をいう。

仕事のかたち

「自営業主」

個人経営の商店主・工場主・農業主等の事業主や開業医・弁護士・著述家・行商従事者等をいう。

なお、法人組織(株式・合資・合名の各会社)になっている商店の経営者の場合は、「会社・団体等の役員」としている。

「家族従業者」

農家や個人商店等で農作業や店の仕事等を手伝っている家族をいう。

「会社・団体等の役員」

会社の社長・取締役・監査役、団体の理事(長)・監事、公団や事業団の総裁・理事等をいう。

なお、部長、課長等のいわゆる管理職の場合は、理事等の役員になっていなければ、含まれない。

「正規の職員・従業員」

会社・団体・官公庁・個人商店等に雇用期間の定めなく雇われている人をいう。

「パート・アルバイト」

就業時間や日数に関係なく、勤務先で「パートタイマー」「アルバイト」または、それらに近い呼称で呼ばれている人をいう。

「労働者派遣事業所の派遣社員」

労働者派遣法に基づく労働者派遣事業所に雇用され、そこから派遣されている人をいう。

「契約社員・嘱託」

専門的職種に従事させることを目的に契約に基づき雇用されている人や雇用期間の定めのある人、労働条件や契約期間に関係なく、勤務先で「嘱託職員」または、それに近い呼称で呼ばれている人をいう。

「家庭での内職など」

家庭で賃仕事をしている人をいう。

「その他」

仕事のかたち「自営業主」～「家庭での内職など」以外をいう。

就業状況の変化

「第１回から仕事あり」

第1回から第7回まで、調査時に「仕事をしている」と回答した場合をいう。仕事をやめた後、別の仕事に就いている場合を含む。

「就業」

第1回に「仕事をしていない」者のうち、第7回までに「仕事をしている」となった場合をいう。「仕事をしている」となった後、再度「仕事をしていない」と回答した場合は、就業状況「その他」としている。

「退職」

第1回に「仕事をしている」者のうち、第7回までに「仕事をしていない」となった場合をいう。「仕事をしていない」となった後、再度「仕事をしている」と回答した場合は、就業状況「その他」としている。

「第１回から仕事なし」

第1回から第7回まで、調査時に「仕事をしていない」と回答した場合をいう。前回の調査から次の調査までの間に仕事に就いて、調査日までに仕事をやめた場合を含む。

「離職」

調査年の前年 11 月～調査年の 10 月までの1年間に、収入を伴う仕事をやめた経験をいい、仕事をやめた後、現在別の仕事に就いている場合を含む。

「離職前」

調査年の前年 11 月～調査年の 10 月までの1年間に、収入を伴う仕事をやめた経験がある前年の調査時点での状況をいう。

「離職後」

調査年の前年 11 月～調査年の 10 月までの1年間に、収入を伴う仕事をやめた経験のある調査時点での状況をいう。

「離職後仕事をしていない者」

第2回調査から第7回調査までに「収入を伴う仕事をやめたことがある」と回答のあった者のうち、離職前（調査年の前年 11 月～調査年の 10 月までの1年間に、収入を伴う仕事をやめた経験がある前年の調査時点での状況）に仕事をしており、離職後（調査年の前年 11 月～調査年の 10 月までの1年間に、収入を伴う仕事をやめた経験のある調査時点での状況）には仕事をしていない者をいう。

「10 月 1 か月間の収入の種類」

調査年の 10 月にあった収入について、「働いて得た所得」「公的年金」「雇用保険」「生活保護等の社会保障給付金」「私的年金」「子ども等からの仕送り」「資産収入」「その他」をいう。

「仕事への満足感」

ふだん収入になる仕事をしており、仕事のかたちが「会社・団体等の役員」「正規の職員・従業員」「パート・アルバイト」「労働者派遣事業所の派遣社員」「契約社員・嘱託」の者（第6回調査からは、ふだん収入になる仕事をしている者）の、第1回から第5回調査では、「能力の活用・発揮」「職場の人間関係」「労働条件」について、第6回調査からは、「能力の活用・発揮」「職場の人間関係」「賃金・収入」「就業時間・休日」「仕事の内容・やりがい」について「満足」「やや満足」「普通」「やや不満」「不満」のうちあてはまるものをいう。